

がん患者ら 思いを表現

製鉄記念室蘭病院 作品展



がんとともに生きる思いを表現した「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス」の作品展

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)で、がん患者と家族、友人を対象とした絵画・写真・絵手紙コンテスト「第5回リリー・オンコロジー・オン・キャンパス」作品展が開かれており、来院者らの注目を集めている。31日まで。

米製薬大手の日本法人・日本イーライリリー(本社神戸市)が主催。がん患者や家族らが、がんとともに生きる決意、悪化への不安、がんの治療などを通じて変化した生き方などをまとめた短いエッセーに、写真や絵画を添えて表現するコ

ンテスト。同病院がん診療センター「せいてつギャラリー」には両部門の最優秀賞や優秀賞など、計5点の作品が展示されている。

絵画部門最優秀賞「希望の雫」の木戸瞳さんは、20代だった2001年(平成13年)に子宮頸がんの告知を受け、手術・治療を経て、10年後には検診卒業となったという。「がんによって得たものが希望の滴となつて、自分らしく輝けるように信じて絵を描き続けた」という思いを表現した。このほかにも「がんとともに生きる決意」「生きていく証」など、それぞれの思いを示した作品が展示されており、来院者がじっくりと眺めていた。

(松岡秀宣)